



体育・保健体育、健康、安全ワーキンググループ

我が国の知育・德育・体育
－汎用性の高い見方・考え方－



心 が変われば 行動 が変わる
行動 が変われば 習慣 が変わる
習慣 が変われば 人格 が変わる
人格 が変われば 運命 が変わる
運命 が変われば 人生 が変わる

やってみせ
言って聞かせて
させてみて
ほめてやらねば
人は動かじ

南 雄志

第7回：令和8年2月19日(木)10時00分～12時30分(予定)

論点整理（概要版） 3頁

1. 学習指導要領改訂の大きな方向性とは？

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方



自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成



「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)

当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】

好き・得意をベースとした主体的な進路選択の促進

高
中
小
幼

課題設定の充実

グループ探究
個人探究
総合



生きて働く「確かな知識」の習得
興味・関心が広がる
教材・学習方法の選択を促進
自分の意見を表現する活動の充実
探究的な要素を持つ学習活動の充実
家庭学習の内容を自律的に決められる
ような段階的指導
(家庭学習はじめ学習習慣の確立を含む)

各教科等

言葉を用いて思考を深めていく指導

他者と関わり協同する力の育成

多様な子供を誰一人取り残さない
視点としての個別最適な学び
と協働的な学びの一体的充実

科学的知見も生かした
効果的な指導計画・授業方法
児童生徒の学習方略の指導

障害や認知特性等、多様な
実態を踏まえた調整
(教科等、家庭学習含む)

全ての活動の基盤として
の心理的安全性の確保

道徳

学びをデザインする高度専門職としての教師

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備

総合的な勤務環境整備

※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

3

論点整理（概要版） 3頁

各教科を基盤とした、
学校教育活動全体の
カリキュラムマネジメントが重要

な方向性とは？

基本的な考え方

持続可能な社会の創り手の育成



当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

例：がん教育

- 主に教科（体育科・保健体育科）で学ぶ
- △ 指導の充実として大切だが、地域・学校によっては外部講師活用の実績のみがクローズアップされがち
- 教科指導を活かした教科等横断的な指導であり かつ 教科等横断的な指導を活かした教科指導という視点が求められる

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

総合的な勤務環境整備

※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

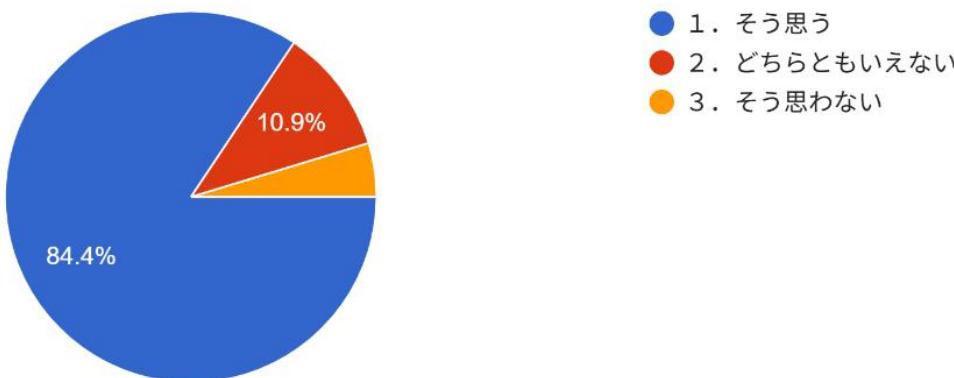
3

例:A高等学校「がんについてのアンケート」 第1回調査(2025年12月3日実施)集計結果

Q 2. がんと生活習慣に関する以下の質問について、最もあてはまるものを選択してください。
(それぞれひとつずつ)

Q 2 – 1. たばこは吸わないでいようと思う。

64 件の回答



※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

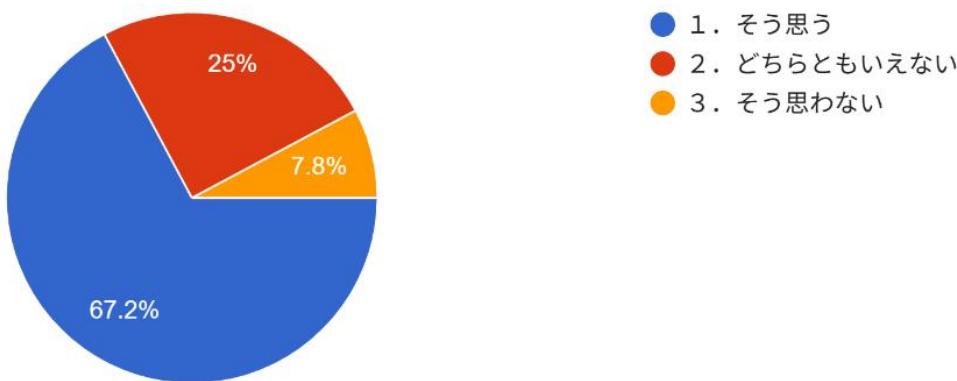
3

例:A高等学校「がんについてのアンケート」 第1回調査(2025年12月3日実施)集計結果

Q 2. がんと生活習慣に関する以下の質問について、最もあてはまるものを選択してください。
(それぞれひとつずつ)

Q 2 – 2. 適度に運動を行おうと思う。

64 件の回答



※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

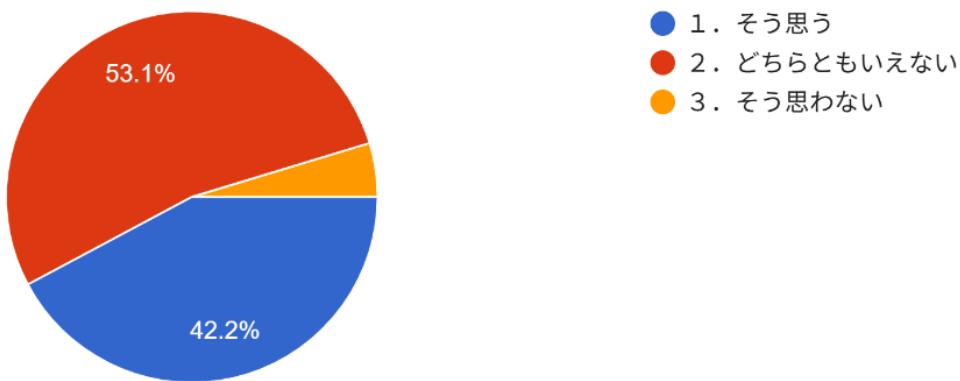
3

例:A高等学校「がんについてのアンケート」 第1回調査(2025年12月3日実施)集計結果

Q 2. がんと生活習慣に関する以下の質問について、最もあてはまるものを選択してください。
(それぞれひとつずつ)

Q 2 – 3. がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。

64 件の回答



※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

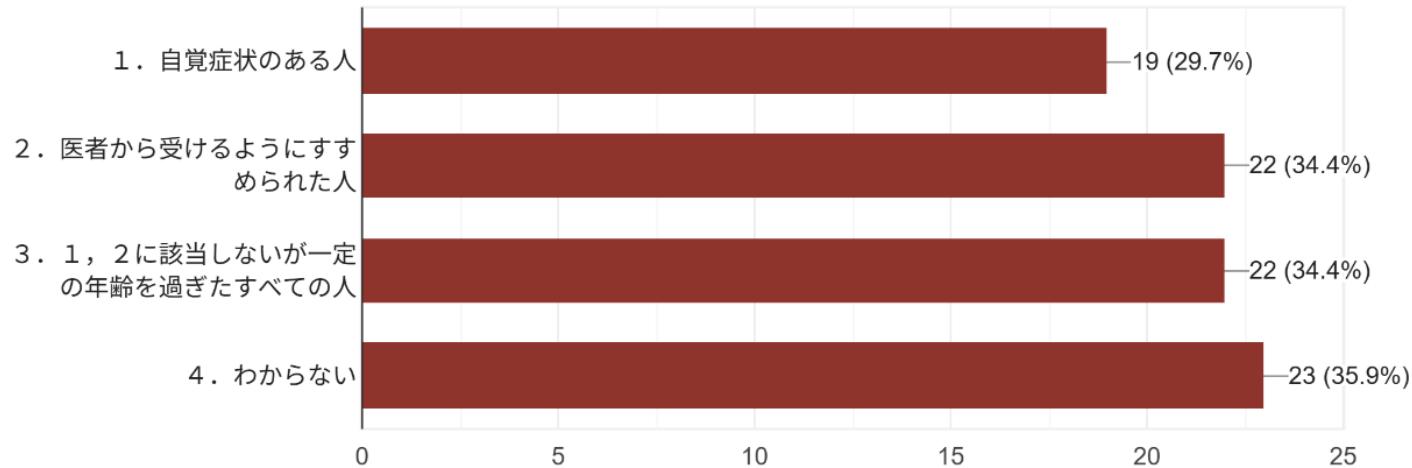
3

例:A高等学校「がんについてのアンケート」 第1回調査(2025年12月3日実施)集計結果

Q 3.

国が推奨しているがん検診は、どのような人が受...。適切だと思うものをすべて選択してください。

64 件の回答



※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今般の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

3

論点整理（概要版）8頁

4.情報活用能力の抜本的向上を図る方策とは？

情報活用能力の抜本的向上と質の高い探究的な学びの実現



情報活用能力を各教科も含めた探究的な学びを支える基盤と位置づけ、小中高を通じた体系的・抜本的な教育内容の充実を行う。デジタルの負の側面にも対応しながら情報技術を自在に活用して課題解決ができる人材を育成する。

幼児教育

自発的な活動としての
遊びを通しての学び

低学年

生活科

※具体的な活動や体験を通じた学び

小学校

低学年

中学年

高学年

総合的な学習の時間

探究

※課題解決を通じて生き方を考える
活用

+ 情報の領域
(仮称)

↓
活用

中学校

総合的な学習の時間

情報・技術科
(仮称)

↓
活用

高等学校

総合的な探究の時間

※自己の在り方生き方と一緒に不可分な課題に取り組む

↑
活用

情報科

※小中の系統性を踏まえて情報科の内容を充実する方向で検討

↓
活用

各教科等

※育んだ情報活用能力を各教科での探究的な学びを支え、駆動させる基盤としても活用

情報活用能力を構成する各要素

①情報技術の活用

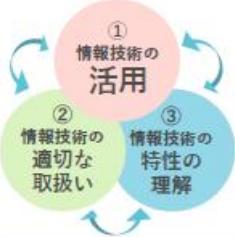
情報技術の基本的な操作及び情報技術を活用した情報の収集、整理・比較、発信・伝達等に関するこ

②情報技術の適切な取扱い

情報技術を扱う際の留意事項に関するこ
(情報モラル、権利と責任等)

③情報技術の特性の理解

情報技術の特性の科学的な理解に関するこ
(コンピュータの仕組み、データ活用等)



小学校段階

体験的な活動を重視し、「①活用」を中心としたながら、「②適切な取扱い」、「③特性の理解」と相まって培う
中学校段階以降

各要素の内容を深めつつ、より抽象的・科学的な理解を必要とする「③特性の理解」を一層重視

中学校 情報・技術科（仮称）イメージ

A 材料と加工の技術 (木材での作品製作等)

B 生物育成の技術 (作物栽培等)

C エネルギー変換の技術 (電気回路等)

D 情報の技術 (情報メディアの特徴、 プログラミングによる問題解決等)

3Dプリンタ、センシングデータ、シミュレータの活用等、情報技術との関わりを強化する観点から、取り扱う内容を充実させる

小学校段階での改善を土台とし、大幅な充実(生成AI、プログラミング、情報セキュリティ等)を行うとともに、他の3領域の基盤と位置付ける

論点整理（概要版）8頁

4.情報活用能力の抜本的向上を図る方策とは？

情報活用能力の抜本的向上と質の高い探究的な学びの実現



情報活用能力を各教科も含めた探究的な学びを支える基盤と位置づけ、小中高を通じた体系的・抜本的な教育内容の充実を行う。デジタルの負の側面にも対応しながら情報技術を自在に活用して課題解決ができる人材を育成する。

幼児

自発と
遊通さ

例:A高等学校 介入研究(2023年実施)

☆情報活用スキルとの関連☆

- × 保健の知識向上
- 記録的猛暑などの身近な素材
(生活上の実感をともなう学習内容)

高等学校

総合的な探究の時間

※自己の在り方生き方と一緒に不可分な課題に取り組む

時間

情報科

※小中の系統性を踏まえて情報科の内容を充実する方向で検討

↓ 活用

時間

↓ 活用

子供が、日常生活で認識しやすい話題を
学習内容に入していくなど、
本来の保健の見方・考え方を働くようにするために
必要な事項を整理する必要がある

8



高等学校学習指導要領(平成21年3月告示)を踏まえ、次の内容を重要視した「保健」の授業を行ってきました。

「高等学校 新 学習指導要領の展開（保健体育科編）」より抜粋

- ・このような改善は、《中略》。保健については生活習慣の乱れやストレスなどが健康に影響することを学ぶことが重要であり、健康の概念や課題、心身の発育・発達と健康、生活習慣病などの疾病の予防、保健医療制度の活用、健康と環境、傷害の防止としての安全などの内容について学ぶことにより、自らの健康を管理し改善していく資質や能力を育成していくことを踏まえたものと考える。（今関豊一氏）

高等学校保健体育授業改善研究会 編著（平成22年2月）

強調、下線は発表者



日本保健科教育学会 第3回研究大会 特別講演より
講師：水野雅文氏（平成30年12月16日）

宮城県の中学生に対する「こころの病気」教育の実践状況

- 宮城県の全中学校216校を対象
- 85%の学校が「こころの病気の授業」を行う必要があるとしながら、現実に実践している学校は3割弱
- 代表的な精神疾患については「学校の授業で取り扱う自信がない」等訴える一方、「**適切な教材があれば、授業で扱いたい**」との回答が7割超え

菅原里江、中鉢皓大、佐藤光源：仙台市精神保健福祉審議会報告書-資料3
「精神疾患に関わる早期支援-『学校教育を通じたこころの病に関する適正な知識の普及啓発』の調査報告」pp1-29, 2006



日本保健科教育学会 第3回研究大会 特別講演より
講師：水野雅文氏（平成30年12月16日）

英国の精神保健教育の内容

① 11歳までの初等教育では

- ・感情コントロールや人間関係の構築
- ・いじめ問題
- ・ストレスへの対処

② 11歳以降の中等教育では

- ・精神疾患についての適切な知識の提供
- ・ステイグマの改善
- ・Help-Seeking（援助希求行動）の促進

精神疾患への十分な理解が可能になる年齢は
10歳以降と言われている（身体疾患は5歳頃）

吉村優作先生のご厚意による (Buchanan-Barrow and Barrett, 2004; Pitre et al, 2007)



田村 学 氏（当時 國學院大學）
「新学習指導要領と「探究」というテーマで、

- 新学習指導要領では、各教科、課題研究、理数研究とそれぞれ「探究」が強調され、教科横断的な視点が強くなつたと捉えられます。ただし、どうしてもそれぞれの教科の特性は出るでしょうから、どの教科の特性も含みつつ、実際の社会とのつながりも視野に入れながら、将来にわたって子どもたちが現実問題を解決していくような時間が重要だということで、総合学習も「総合的な探究の時間」と衣替えをすることになります。

「探究」を探究する -本気で取り組む高校の探究活動- 田村学、廣瀬志保 編著



田村 学 氏（当時 國學院大學）
－探究の4つのプロセス－ というテーマで、

- 「探究」というとそれぞれ独自の理解もあると思いますが、総合学習のワーキングで示した探究のプロセスでは、基本的に「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という4つのプロセスを提示し、それが繰り返し、スパイラルしていくこととしました。

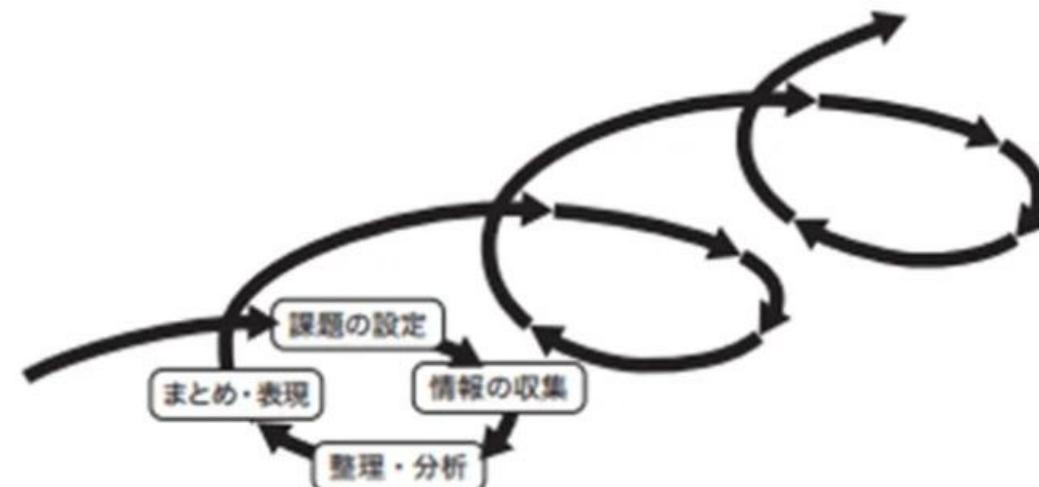
「探究」を探究する -本気で取り組む高校の探究活動- 田村学、廣瀬志保 編著



田村 学 氏（当時 國學院大學）
－探究の4つのプロセス－ というテーマで、

○ 「探究」 総合学習 に「課題 表現」と スパイラル

探究的な学習における生徒の学習の姿
(探究のプロセス)



■日常的な社会に
目を向け、児童・生
徒が自ら課題を設
定する。

■探究の過程を経由する。
①課題の設定
②情報の収集
③整理・分析
④まとめ・表現

■自らの考えや課題が
新たに更新され、探究の
過程が繰り返される。

ますが、
基本的
まとめ・
反し、

学、廣瀬志保 編著



田村 学 氏（当時 國學院大學）
-探究の4つのプロセス- というテーマで、

○

総に表

スパイラ

(再掲) 子供が、日常生活で認識しやすい話題を
学習内容に入れていくなど、

本来の保健の見方・考え方を働くようにするために
必要な事項を整理する必要がある

が、
本的
め・



学、廣瀬志保 編著

-汎用性の高い見方・考え方-

個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切で
あるというヘルスプロモーションの考え方

ヘルスプロモーションの理解が情報活用スキルの向上に寄与するためには、
ヘルスプロモーションに関する身近なテーマ
を扱うことが重要



最後に... 「授業における教師の技量」

〈要約〉

「子どもが自ら問うことを学ぶ」力を形成することが求められている現代においてこそ、子どもの既知をゆさぶり、知的関心や学習意欲を呼び起こすような教材・教具を開発し、発問を工夫し、討論を組織するなど、これまで以上に技量のある教師、指導力のある教師が求められている。（和唐正勝氏）

森昭三、和唐正勝 編著 『新版 保健の授業づくり入門』（大修館書店）より

強調、下線は発表者



第7回：令和8年2月19日(木)10時00分～12時30分(予定)